

# 持続可能な農業をバスツアーで現場から発信

消費者層の理解醸成のため、持続可能な農業に取り組む生産者を現地見学するバスツアー「続・知ってほしいだけなんだ！～あの人の土づくり、そして今年は放牧豚～」を開催。

## ○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

## ○ きっかけ・背景、課題の把握

消費者層にみどり戦略等への関心を持ってもらうためには、生産現場における環境負荷低減の取組を情報発信することが重要と考え、報道機関等を対象とした現地見学会（バスツアー）を企画。

## ○ 取組の内容

令和7年10月に現地見学会を実施。慣行農業と有機農業を両立している畑作農家と規格外農産物を給餌しつつ完全放牧を実践する養豚農家を訪問するとともに、自家産有機野菜を主とした食事や弁当を提供する飲食店での昼食など、川上の生産から川下の消費までを意識した内容とした。

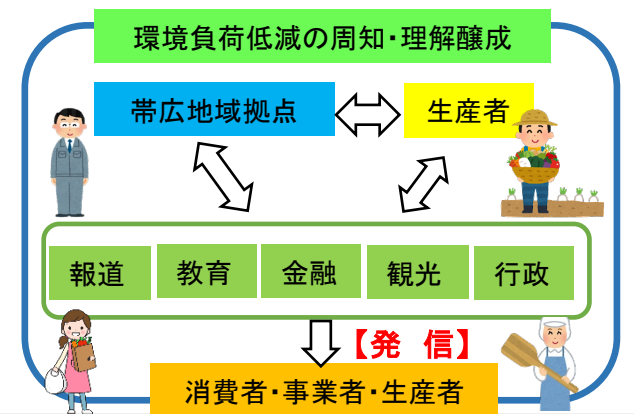
報道機関、教育機関、金融機関、観光事業者などの発信力の高い団体に参加を促し、消費者のみならず生産者の有機農業への理解醸成も意識した。

## ○ 効果・成果、今後の方向性

参加者から高い関心を得て、新聞記事3社、コラム・SNSなどで発信された。また、発信記事をきっかけにして、訪問先の生産者と札幌市内の飲食店との間で取引が生まれるなど新たな関係性の創出に繋がった。

今後は、企業との連携を一層強化しつつ、消費者等への理解醸成を着実に進めることで、みどり戦略の実効性向上に繋げていく。

## 体制図



緑肥の効果について説明する生産者



有機野菜の直売について意見交換



有機野菜をふんだんに使った昼食用のお弁当



規格外農産物を給餌して養豚を行う生産者との意見交換